

## 平成26年度 第1回湖西市ごみ減量市民会議 会議録

開催日時 平成26年6月30日（月）14：00～16：05

開催場所 湖西市環境センター2階 会議室

出席委員 平井一之委員、雨宮順介委員、田中明彦委員、高部一行委員、大谷勇委員、  
志水哲夫委員、稲垣峰代志委員、高柳達弥委員、西川哲夫委員、近藤旭委員、  
大久保宏子委員、山下美恵子委員、豊田千佳委員、牧野和子委員、  
杉浦徹衛委員、田代ルリ委員 16名

欠席委員 山口健委員、田内清之委員

事務局 渡辺環境部長、佐原ごみ減量課長、守田ごみ減量課長代理兼減量係長  
河合減量係主任

会議資料 ごみ減量市民会議委員名簿 (資料1)  
湖西市の廃棄物処理量の推移 (資料2)  
リサイクル率の推移 (資料3)  
湖西市の家庭ごみの分別収集の状況 (資料4)  
浜松市への可燃ごみ搬入状況 (資料5)  
環境センター配置図 (資料6)  
ごみ問題に対する市民の意識改革事業 (資料7)  
湖西市におけるごみ減量の取り組み状況 (資料8)  
湖西市ごみ減量会議設置要綱

### 内容

#### 1 開会

#### 2 委嘱状交付

(市長から委嘱状の交付)

### 3 市長あいさつ

開催にあたり一言ごあいさつを申し上げます。この会議は、このような形で市民会議の名前で発足するのは、初めてのことであります。それぞれ各分野の方にごなたかを推薦していただき、必ずしもその会の責任者ではありませんが、中には責任者その者が出ている人がいますが、それぞれの分野から推薦をしてほしいとお願いしたわけです。一般の市民の方もどうぞと、2～3人くるかなと思いましたが、今日欠席している山口さんが、1人の応募がありまして、その方にそのままお願いしたという形でございます。

ごみの減量、あるいは、今、ちょうど水道の水が足りないというわけで、農業用水も足りないですが、今5%の節水をお願い呼びかけているんですね。

ただ、水道の水を節水していただきますと、市は、県から一部買ってはいますので、その分のコストダウンは、少し買わない部分だけではありますが、他のコストが圧倒的に多いものですから、皆さんが水道の水を節約してくれまして、市は赤字が増える構造になっています。変な話なんですけど、一生懸命節約してくださいねとお願いしているにもかかわらずですが。ただ、次の投資をするときには少なくなるということはある。瞬間的にこの数年を見ますと節約していただくと、コストダウンが同じようにできないから、結局、赤字が膨らむ計算になっちゃうんですね。

ところが、ごみは、ここで環境センターでごみを燃やしていますと、みなさんが、ごみは、多少減ろうがオペレーションコストはほとんど同じであります。多少、電気代は、少し安くなる程度であるということは、ごみもやっぱり、自分で燃やしていますとみなさんが節約してくれてもコストダウンはほとんどできませんよね。あまり関係ないじゃないかということになりかねないですねが、それは、15年に1回新しい設備を作るときには、少ない設備でいいということで、ごみの節約は役に立つわけなんですけど。もちろん、ごみの節約は役に立つんですが、今回は、今は、浜松市にごみをお願いしている状況が生まれました。

今年からトンあたり20,800円をお願いしている。今までは、20,500円をお願いしていた。300円値上げを認めたという形に今年からなっております。。

最近、湖西市から持っていくごみ量は、ここ2年間減っている。私どもにとっては、ごみを減らすということは、まぎれもなく、コストダウンそのものであります。そんなことがありますんで、是非、みなさんのお力で、今日、集まっていた方は、知恵を出していただきたいし、みなさん知恵があるだろうという方が集まっているわけです。こんなことをしたらごみが減るアイデアを出していただきたいと思うわけです。

僕も、実はごみを無くす努力ではなくて、ごみが落ちているのを拾う努力をしています。私は、朝の散歩を毎日 30 ～ 40 分、毎朝やっている。その時には、袋を持って出かけるが、普通の人、犬のフンを取るために袋を持っていくんですが、フンより一杯集まるのは、ごみなんです。10 日に 1 回ぐらい同じ場所、我が家から出てこっちに行くあっちへ行くと場所を変えるわけですね。歩く場所を変えていますと、毎回、必ず、ごみが落ちている。10 日に 1 回同じ場所に戻ってくる。10 日間、誰もごみを捨てなければゼロのはずなんです、ゼロの可能性はものすごく少ない。たまに、今日は、拾わなかったときがたまにある。雨が降っていてあわてて早く帰ってきたいなあときである。うっかりと見落としはあるが、必ずごみが落ちているということは、100 人 1 人か 2 人か知りませんが、平気でごみを捨てる人がいます。

特にたばこの吸殻は、多いですね、拾えません。たばこの吸殻を拾っていると、歩く時間が無くなっちゃうから、たばこは無視しています。しかし、必ずペットボトルは、1 個は拾いますね。そういう意味では、行儀の悪い人が 1 ～ 2% 存在しているのが、この湖西市であります。

いつも、広報こさいの正月号に書いているんですが、「花いっぱい、ごみがなく、あいさつ拔群の市」にしたいと言っている。市役所のトイレにいくと「あいさつ拔群の市になろう」とか、「あいさつみんなでやろうね」とポスターがバタバタ貼ってありますが、あいさつ運動を盛んにやっているしだいでございます。今年、自衛隊から 1 人もらいまして、自衛隊、消防、警察は、やっぱりあいさつがいいんです。大きな声で言ってくれます。別の仕事をやってもらっているが、今日、自衛隊から来ていただいた方と一緒に昼飯を食いたいと、呼んで、私の部屋で昼飯を食ったんですね。今の仕事はもちろんお願いしたいですが、それ以外に、あいさつ運動をもっとレベルアップしたいので知恵を出してくださいと昼休みをお願いしたばかりでございます。

そんな形で私 1 人ではできないから、いろいろなアイデアを出してください。どうしたらいいかな。今日は、まさに、名前どおりに、ごみ減量市民会議でありますから、ごみ減量のためのアイデアを出していただきたいということをお願いいたしまして、これで、私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

#### 4 委員自己紹介等

(委員自己紹介)

(事務局自己紹介)

渡辺環境部長、佐原ごみ減量課長、ごみ減量課 守田、河合、深井

(市長、退席)

## 5 会長、副会長の選出

(委員からの提案に基づき事務局案提示)

全員、拍手

会長：静岡県環境資源協会 平井一之氏

副会長：湖西市自治会連合会長 高柳達弥氏に決定

## 6 会長あいさつ

会長を仰せつかりました平井です。頑張って会長という大役を務めたいと思います。

環境問題の 21 世紀の課題として、環境省や静岡県は、3つの大きな柱を基本にしています。1つ目は、低炭素型社会として温暖化をどうやって食い止めるか。2つ目は、まさに今日のテーマである循環型社会の構築としての、3Rの推進でありまして、リデュース、リユース、リサイクルのしくみをどのように定着していくか。

3つ目は、自然共生型社会の構築であり、生物多様性の問題にどのように対応していくか。自然と生態系が共存共栄していくか、やさしい環境を次の世代に残していくのかであります。この3つに加えて、3年が経ちますが、3.11の大震災でエネルギーの考え方が様変わりました。環境配慮型のエネルギーをどのように推進していくのが、我々にとって大きなテーマになっていることは、間違いないと思います。

こうした3つのテーマプラスエネルギーを含めた今日的な環境問題というのは、国際的な視野で議論することが必要でありますし、国や県のレベルで政策的に議論していくことが必要であると思いますが、やはり、湖西市として、市民として、今、何ができるのかが問われているのは間違いないことであると思います。今日のテーマである、ごみ減量、循環型社会の構築のため、市民として果たすべき役割をこの市民会議で議論して、市長からお話がありましたが、どうやってコスト

削減を図っていくのかを具体化していかなければなりません。

廃棄物の処理には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、産業廃棄物については、排出事業者責任であり、一般廃棄物は、各自治体の固有事務で、湖西市の市民が出したごみは、税金で処理することが当たり前のようになっています。これが、今日的な問題として、市民は、ごみに対するコスト意識がないのが実体です。この辺をどのように変えていくのかが、この市民会議でどうするかが問われていると思いますので、有意義な議論をしていくことを期待しまして、会長のあいさつに変えさせていただきます。どうかよろしくお願いします。

(拍手)

## 7 湖西市の状況

### (湖西市の状況について事務局から説明)

|                  |       |
|------------------|-------|
| ごみ減量市民会議委員名簿     | (資料1) |
| 湖西市の廃棄物処理量の推移    | (資料2) |
| リサイクル率の推移        | (資料3) |
| 湖西市の家庭ごみの分別収集の状況 | (資料4) |
| 浜松市への可燃ごみ搬入状況    | (資料5) |
| 環境センター配置図        | (資料6) |

### ○ごみ減量市民会議委員名簿 (資料1)

18名の方に委員になっていただいた。委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。

委員の方の内訳は、公募市民が1名、学識経験者1名、事業者代表が6名、自治会代表者が3名、市民団体の方が5名、その他、市として、参加していただきたい方が2名である。

任期は、平成28年3月31日までとなっているので、よろしくお願いいたします。

### ○湖西市の廃棄物処理量の推移 (資料2)

湖西市の廃棄物の状況である。平成25年度の計画収集量は、19,715トンであり、家庭系と事業系の可燃ごみと不燃ごみ、草木や飲料水缶、ペットボトル、ガラスびん、プラマーク品などの資源物、古紙・古布等である。

集団回収は、幼稚園、小学校、中学校で実施する廃品回収のことであり、平成25年度は、1,090 t が回収された。

ごみ処理量と集団回収量を併せたものが、ごみ総排出量であり、20,805tである。

次に、リサイクル率であるが、リサイクル率とは、1年間のごみの排出総量に対し、リサイクルした量の割合のことを言う。この数字が高い程良いことになるので、市でも少しでも率を上げたいと思う。

平成22年度は、20.2%、平成23年度は、32.8%、平成24年度は、37.4%、平成25年度 40.7% と大幅に増えている。

### ○リサイクル率の推移 （資料3）

これは、先ほど、説明した資料2の詳細であり、資源化されたものの内訳である。古紙、金属、ガラス、ペットボトル、容プラと書いてあるのは、プラマーク品である。その他に古布である。

可燃ごみや不燃ごみの中を見ると、ペットボトルや飲料水缶、雑がみなどたくさん資源になるものが含まれている。市民の方に、正しく分別していただき、資源量の増加をさせ、ごみ減量をしたいと思う。

### ○湖西市の家庭ごみの分別収集の状況 （資料4）

ごみや資源の収集は、現在、湖西地区と新居地区は、違っている。燃やせるごみ、燃やせないごみ、剪定枝や草は、両地区とも曜日は、違うが、同じようにごみステーションに出す。ごみステーションは、自治会で決められていて、空き地や歩道にあり、鉄製のごみ籠やネットのみのところがある。

ペットボトル、飲料水缶、ガラスびん、プラマーク品、白色トレイなどの資源は、出し方が違っている。

湖西地区は、市内に 100 箇所ほどの資源物回収拠点があり、そこには、大きなコンテナがあり、曜日に関係なくいつでも出せるようになっている。

新居地区は、常時出せる拠点はなく、ごみステーションで、決められた曜日に、大きなネット袋があり、その中にペットボトルや飲料水缶を入れる。

このように、資源物関係は、市内で2つの出し方で実施している。

曜日に関係なく、いつでも出せる湖西地区の方式は、利用者としては便利だが常設場所の確保が必要であり、ごみステーションと比べ広い面積が必要になり、曜日、時間に関係なくいつでも出せることから、監視の目が行き届かず、ルールが守られない割合が高くなっている。

曜日を指定して出す新居地区の方式は、利便性の面では劣っているが、ネット袋を利用して中身が見えることから、ルールを守る人の割合が高くなっている。

ごみや資源物の詳細については、配付した両地区のカレンダーを見ていただきたい。

### ○浜松市への可燃ごみ搬入状況 （資料５）

可燃ごみは、この環境センターでは、焼却はしない。平成22年10月から浜松市へ焼却を委託している。

この中で、湖西市車両とは、環境センターに直接搬入された可燃ごみやごみを破碎して出た可燃ごみであり、平成25年度は、1,382 tが発生した。

次に委託車両は、市内のごみステーションから収集した各家庭の可燃ごみであり、平成25年度は、9,183 tである。

許可車両は、事業所の可燃ごみであり、市内の許可業者が会社、店舗から回収したごみであり、平成25年度は、3,169 tである。

平成25年度の合計で、13,734 tである。

平成23年度は、14,304 t、平成24年度は、13,755 t、平成25年度は、13,734 tと少しずつであるが、市民の皆様のご協力により、ごみ減量の効果が出ている。

浜松市へのごみ焼却委託には、多額の費用がかかっている。平成25年度の場合、金額は、1 tあたり20,500円であり、約3億円弱の費用が毎年かかっている。

たとえば、可燃ごみが、100 トン減れば、2,050,000 円の委託費用が減る。

また、湖西市の人口は、61,000人であるが、1人年間1 k g ごみ減量をするると61 tになり、1,250,000 円の委託費用が減ることになる。

右側の表は、ごみステーションにおける生ごみの割合や量であり、平成25年度は、可燃ごみの重量のうち、47.5%、4,362 tであった。

この数字は、概算の数字である。

定期的にごみステーションの可燃ごみの中身を検査し、生ごみ、紙、布、ビニール類等に仕分けて計量し、割合を調査している。47.5%は、調査した平均値である。生ごみの焼却費用は、89,000,000円がかかっている。

市民のみなさまの大事な税金を有効利用するため、少しでも、ごみの減量と資源化を推進して、経費節減に努めたいと思う。

市でもいろいろな施策を実施しているが、まだまだ、減ると思うので、どのような施策を実施したら良いか悩んでいる。今回、委員の皆様のご協力をいただき、新しい施策を実施したいと思うので、よろしくお願いいたします。

### ○環境センター配置図 （資料６）

1 枚目は、環境センターの概要であり、平成10年7月に竣工し、建設工事費

は85億円と多額の費用がかかっている。この施設は、主にごみ焼却施設とリサイクルプラザが併設されていた。

2枚目は、ごみ焼却施設の概要であるが、平成22年9月末で停止している。平成22年10月から可燃ごみは浜松市へ委託しているため、全く使用していない。

3枚目は、リサイクルプラザであり、現在も使用しており、ごみステーションや資源物回収拠点から、搬入される不燃ごみ、ペットボトル、飲料水缶、プラマーク品、ガラスびん等を磁石や作業員により、選別作業をしている施設である。選別した資源は、価値があるので、売却している。

平成25年度の場合、年間3,800万円ほどの資源物売却収入があった。

以上で、廃棄物の状況の説明を終わります。ありがとうございました。

## 8 環境センター内見学

(環境センター見学)

(2階連絡通路を渡り、焼却炉、プラットホーム、中央操作室を見学)

## 9 議事

| (1) ごみ問題に対する市民の意識改革について (資料7) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長                           | <p>進行を努めさせていただきたいと思う。当局から次第をお配りいただいております、8番まで済んでいる。私が担当するのは9番になる。</p> <p>みなさまにご意見をいただくようになる。</p> <p>まず、初めに事務局より説明していただく。きょう、何かの結論を出すということではない。きょうは、市の方で説明していただいたことに対して、みなさまがどのように感じたのか、日ごろどのようなことが困っているのか、もし、こういうこともやったらどうか。ざっくばらんのそれぞれの意見を承る場にしたいと思う。1番の意識の改革と2番のどのような行動を起こしていくのか。では、早速1つ目になる「ごみ問題に対する市民の意識改革事業」について、まず、市の方から説明をお願いしたい。</p> |
| 事務局                           | <p>ごみ資源物の正しい出し方説明会を34回実施し、1,546名の方に参加いただいた。自治会、老人クラブ、小学生、高校生、市民団体、町内会の納涼祭などに参加した。少しでも多くの方に聞いていただきたいので、土日・夜間に関係なくいつでも行くので、是非とも、呼んでいただくようお願いする。</p>                                                                                                                                                                                            |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>2 番の生ごみ減量講習会は、生ごみ減量には、キエーロ・EM・コンポストなどいろいろとあるが、なかなか、やるきっかけが難しいということで、7 月にも減量講習会を予定しているが、平成25年度は、44回で延べ 105 名に参加していただいた。市では、特にキエーロを推進しており、コンポストやEMは、ホームセンターで購入していただき、2 分の 1 の補助がある。キエーロというのは、先ほど杉浦さんが言われたように神奈川県葉山でやっているものであり、タンスの引き出しを利用して、それに屋根を付け、市民の方に無料で配付している。階段を下りた、玄関のところに展示してあるので、帰りに時間があれば見てほしい。</p> <p>次に 3 番の環境センター施設見学ということで、毎年、小学校の 4 年生に来ていただいているが、25年度は、4 回で 250 名の方が来ている。</p> <p>4 番のイベント参加状況であるが、みなさんにPRをしないと、なかなか知らせる機会がないので、平成25年度の場合は、湖西春の緑花フェア、国際交流協会主催のワールドパーティー、湖西秋の緑花フェア、わいがやKトラまつりに出展して、ごみ出しルールを説明したり、生ごみ減量コーナー、ごみ分別ゲームを実施した。</p> <p>次に広報紙への掲載ということで、市民にPRできるのは、広報紙であるので、平成25年度の場合は、広報こさいは、10回、月 2 回発行される市役所だよりは、7 回、市役所正面玄関に電光掲示板のモニター広告があり、毎月、不法投棄防止、持ち込みごみ有料化などを掲載した。</p> <p>6 番のスーパー店頭での啓発活動であるが、去年は、4 回実施して、新居町婦人会、消費生活グループの方に協力いただき、チラシと粗品を配付した。ご協力ありがとうございました。</p> <p>その他の対策として、ごみ減量ののぼり旗を公共施設へ設置したり、市公用車にマグネットシートの貼り付け、市役所市民ホールに平成23年 8 月から生ごみ減量コーナーを設置して、キエーロ、EM、コンポストを展示して、説明している。以上のように市民意識の改革という事業を実施している。是非とも新しい意見をお願いする。</p> |
| 会 長 | <p>市民の皆様方にごみ減量のこととか、直接的なコスト意識の問題、財政負担が大変なんだということについて、しっかりとご意見をいただくため、市では、このような事業を実施していますとご紹介をいただいた。講習会をやったり、施設見学をやったり、いろいろなイベントがあったりとか、市の広報紙に特集を組んだりとか、いろいろとやってはいるが、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|     |                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ごみは減らないとのことである。そこで、市民のみなさまへの広報活動、今やっていることを理解していただくための提案でも良いので、もっと新しいことをやったらどうかと、そんなようなことについて、それぞれの立場で、率直にご意見を承りたい。 |
| 事務局 | はいそのようにお願いしたい。                                                                                                     |
| 会 長 | どんどん、少しぐらいピントがずれても結構なので、日ごろの思いを言ってほしい。ごみの話でどんなことでも結構なのでよろしくお願いしたい。                                                 |
| 委 員 | ちょっと1つ、先ほど事務局の説明の中で、資料2のリサイクル率が、40.7%になったという話があった。これは、湖西市としては、目標は100%ということで良いか。                                    |
| 事務局 | 総合計画では、そこまでの数字は出ていないが、限りなく大きい数字を目指している。                                                                            |
| 委 員 | まだ、40%ということなのか、もういいんだよということなのか。                                                                                    |
| 事務局 | 現在の数字は、県下では5番以内に入っている数字である。まだまだ、上を目指したいと思っている。                                                                     |
| 会 長 | これでよろしいか。                                                                                                          |
| 委 員 | はい。                                                                                                                |
| 会 長 | 環境基本計画や廃棄物処理計画があり、今、総合計画の話があった。上位計画に対しての目標設定はないのか。                                                                 |
| 事務局 | 目標設定は、もう少し少ない数字であり、急激に率が上がったため、目標を達成している。もう少し、高い目標を設定したいと思っており、今考えている最中である。                                        |
| 会 長 | 一般的には、自治体の平均で20%いけば、まあまあである。静岡市とか浜松市では、20%は達成していない。40%と言う数字は、高い目標値であるということにはなるが、リサイクル率が向上すれば、浜松市へのお金も減るのである。       |
| 委 員 | どういう計算しているかの根拠がわからないが、ほんとかなと思う。                                                                                    |
| 事務局 | ほんとの数字である。                                                                                                         |
| 会 長 | 率が大きくなってきた理由は何か。たとえば、数年前は、一般的な平均の20%であったのに、急激に伸びている。                                                               |
| 事務局 | 古紙古布を回収しだしたと、草木の回収をしたとか、プラマーク品のルールを守っていただいて増えている。市民の意識が高くなっている                                                     |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ことと分別収集のやり方を変えたことが効果があった。また、23年度に新居地区のプラマーク品が入ったために余計に増えている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会 長 | わかりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委 員 | もう1つ別の話で、これに関連するが、アピールをしたとか、分別の方法を細分化したために効果があった。アピールをする方向も広い範囲でやらなければならない。去年は、生ごみを減らそうと大きな目標になっていたと思うが、資源物の正しい出し方の説明会は、子ども、老人クラブ、自治会に各年齢層を全部網羅する説明はされているが、生ごみの方は、減量講習会もやっているが、十分にアピールができていない資料にはなっていない気がする。                                                                                                                                                              |
| 会 長 | 生ごみ減量に対するアピールがまだまだではないかというご意見である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事務局 | <p>ごみ・資源物の正しい出し方の説明会、生ごみ減量講習会の参加が少ないので、アピールが足りないのではないかとということだが、もちろん、生ごみ減量講習会については、減らし方、できた堆肥の使い方など、より具体的に説明をしている。</p> <p>ごみ・資源物の正しい出し方説明会は、座学であるが、正しい分別の仕方、減らし方、キューロの使い方など総合的に説明をしている。説明会の方だと分別方法だけであると思ってしまうが、生ごみ関係も説明をしている。</p>                                                                                                                                         |
| 委 員 | 説明会の中で生ごみの話もしているということか。わかった。しかし、生ごみの参加者が、3分の1になっているのはどういうことか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事務局 | <p>生ごみ減量講習会は、24年度と比べて25年度は大変に参加者が減っている。105名になっている。こちらは、キューロによる部分が多いが、委員が参加していただいた23年度の第1回は、8月からスタートしたが、24年度になると口コミと広報に掲載し、目新しさもあり、市が開催するため募集をかけると、20～30名の参加があった。</p> <p>ここに来てひと段落というのもおかしい言い方であるが、少し下火になってきていて、先ほど、委員も言われたように、口コミに頼っている部分が多いものになるので、キューロに関しては、環境センターにお見えいただき、直接説明してお渡しすることもできるし、出前講習会もやっているが、始めるよの第一歩のハードルが高い気がする。担当の努力不足もあると思うが、減ってしまった。増やすためにもお知恵をい</p> |

|     |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ただきたいと思う。                                                                                                                                                                                                                |
| 会 長 | わかりました。よろしいですか。何でも良いので、発言をお願いする。どうぞ。                                                                                                                                                                                     |
| 委 員 | ごみはやっぱり毎日です。私の友達も手がかからなくて、簡単で、お金がかからず、ずっと片付くのが良い。めんどくさくなったら、ごみに出すのが簡単であるが、それをぐっと我慢して、こういうのを利用する。私は、コンポストも、キエーロも、だっくす食ん太のダンボールも並行してすべてやっている。いいところ取りをしている。冬場はあまりキエーロが消えないから。場所があれば、自分のやりよいところで、お金のかからないところだと宣伝していったら良いと思う。 |
| 会 長 | 何か市の方で特によろしいか。                                                                                                                                                                                                           |
| 事務局 | 市の方はない。                                                                                                                                                                                                                  |
| 会 長 | わかりました。ほかにどうですか、どんなことでも結構である。事務局の方で説明していただいたことでも、どうぞ。                                                                                                                                                                    |
| 委 員 | 昔、アパートに住んでいたとき、子ども会と町内会に入っていなかったが、引越してから、子ども会と町内会に入った。それからごみの分別とリサイクルをやるようになった。ブラジルでは、ごみの分別の習慣はない。日本人向けの説明はあるが、ブラジル人向けのものがないので、あった方が良いと思う。                                                                               |
| 会 長 | 大事な話で、外国人の皆様向けの勉強会みたいな部分をというところだが。                                                                                                                                                                                       |
| 事務局 | 外国の方の勉強会であるが、説明会は、公民館に出向いてやらせていただきたいと思い、話はしていたが、やらせていただけるなら、出向いて行く。会場がないなら、こちらでもやりたいと思う。こちらで募集とか、やり方はいろいろとあると思うが、周知するための説明会はできる。                                                                                         |
| 委 員 | 日本語でなくて他の言葉でできるか。                                                                                                                                                                                                        |
| 事務局 | 他の言葉でも、通訳の方も一緒に来ていただきたい。何かのイベントの時に呼んでもらえれば、少しでも話をしたい。機会をいただければと思う。                                                                                                                                                       |
| 会 長 | 是非、この辺も。私は外国の方との付き合いも多い。東南アジア、ハワイの方は、ごみの分別の方法をすごく勉強したがっている。世界全体の中で日本人のごみ分別の意識は結構高い。一時、一番進んでいるのはドイツと言われていたが、最近は、ドイツも少し緩んでいて、循環型社                                                                                          |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>会形成推進基本法、容器包装リサイクル法とか、家電リサイクル法とか、食品リサイクル法、自動車リサイクル法、建設リサイクル法とか、このような仕組みがしっかりできており、日本は分別の先進国である。</p> <p>問題は、湖西市の人口は、61,000人であるが、市民の皆様全員が分別の大切な事を理解していただければ良いのであるが、そうではない。今日、来ていただいた方は、ごみに対して熱心に取り組んでいらっしゃるが、市民全体の底上げをどうしていくか、どうしてもまだまだ、やらなくてはいけないことがある。意識改革について他にどうか、もうちょっと時間があるので、何かないか。</p>                                                                      |
| 委 員 | <p>啓発運動に参加させていただいているが、関心のある人は、喜んでもらってくれる人がいるが、なかには渡すといいと断る人がおり、残念であると思う。</p> <p>やっぱり、温暖化の時代で、電化製品にしても、私たちの子どものころは、薄板とか、こういうものに入れて、頂いてきた。</p> <p>お土産物をいただいても、一つめくっても中身が出てこない状態であり、いろいろなものが包んである。みんなごみになる。過剰包装はもつたない。湖西市だけではなく、日本中が考えるべき問題である。</p> <p>中身が出るまでに何回もめくるものがたくさんある。昔、お豆腐でも入れ物を持っていくと入れてくれた。新居町でも背板でもらってくるところもあるが、衛生面から考えられていると思うが、プラなんか一杯である。今、一番プラが多い。</p> |
| 会 長 | <p>売る側の皆さんにも、考えていただきたい。ありがとうございました。どうですか、はい、どうぞ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 委 員 | <p>私は、自治会という関係から出席している。感じていることで、やはり、集積場所というリサイクル部分のところを含めて、ごみを減量する以前の問題で意識が困っちゃうなというのが多い。もちろん、ごみ減量は大切なことであるが、それ以前のモラルが不足している。まだ、ごみを収集する場所に持ってきてくれるのはよいとしても、車からのポイ投げなど結構でている。まあ、地域の中だけではなく、道路の際へポイポイ捨てる。食べた弁当の空を捨てる。そっちの方がつらいなと思う。</p>                                                                                                                                |
| 会 長 | <p>不法投棄的なことも含めてになるのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 委 員 | <p>もちろん、ごみ減量は必要であるが、その辺のことが、自治会として管理する部分の範ちゅうの中では、何とかならないか。大通りの場所は、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|     |                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 誰かれ構わず捨てるのはやむを得ないと思うが、地域によっては、どこにごみ箱がおいてあるのか、わからない場所にも置いてあるということもある。                                                                                                                                                                |
| 会 長 | 先ほど、市長さんが犬の散歩で毎回ごみを拾うという話があった。そういうことを含めてごみ減量の前にごみの出し方のモラルというご意見である。事務局の方で何かあるか。                                                                                                                                                     |
| 委 員 | 私の立場では、このようなことに気を配っているので辛いなと思う。                                                                                                                                                                                                     |
| 事務局 | 不法投棄などには、看板を設置したり、監視カメラを設置しているが、範囲が広いため、すべてが網羅できるわけではない、時々、大知波の山とか、定期的に自治会と協力して回収をしている。                                                                                                                                             |
| 会 長 | 集積場所とか、ごみステーション、拠点などいろいろな言い方があるが、そういうことに対して市民がしっかりと理解しているのか。そこに持っていくのがめんどくさいから、捨ててしまうとか、もうちょっとということか。                                                                                                                               |
| 委 員 | ウォーキングクリーン作戦に年何度か参加していると、スーパーの袋に包んだまま捨ててある。中には、生のお魚がそのまま入っている。マナーが悪い。包んだものを置いてある。                                                                                                                                                   |
| 会 長 | 環自協はありますよね。そういう方々もご活躍をいただいていると思う。マナーであるとか。                                                                                                                                                                                          |
| 事務局 | 環自協であるが、環境衛生自治協議会というものが、白須賀地区にある。定期的に海岸清掃をしていただいている。ポイ捨てのマナーについては、市で条例化をしているが浸透はしていない。役所のやることで、こんなことを言うてはいけませんが、なかなか浸透しない。理解の得にくい部分であるので、広報紙で、市民の皆さんの中に入っていきやすいアプローチの仕方、こんなことがあるんだよという、市民の皆さんの中に入っていきやすいアプローチの仕方をみなさんに教えていただきたいと思う。 |
| 会 長 | この辺を市民会議で議論していくようになる。<br>今日は、結構ですが、次の会議の時までに、意見を持って来てほしい。<br>次に、事業系、商工会を含めて、事業系の方々に来ていただいているが、一般廃棄物の中には、事業系一般廃棄物がある。これがやっかいであり、事業者が出す廃棄物は、すべて産業廃棄物であるかというところでもなく、事業系一般廃棄物があり、オフィスで出る紙ごみとか、プラスチック以外は、事業系一般廃棄物になったりする。その辺でどうか。        |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 今日は大手のパナソニックさんとかアスモさんに来ていただいている。事業者としてごみ減量を頑張らないといけないという話があったのでどうか。                                                                                                                                                                                   |
| 委 員 | 会社の中で取り組んでいる方法であるが、分別の仕方は徹底している。ポイントとして、お金に換算するようにしている。ごみをいっぱい出すと、会社のお金がなくなり、会社の利益がマイナスになり、それぞれに跳ね返るんだよ。結局、一般廃棄物も同じで、自分の出したものが自分に跳ね返る。市民に説明するときも、去年までは、この位の費用がかかっていたが、皆さんの努力により、これだけ減ったんだよ、ありがとうございましたのようなことを、その都度出していただくのが、そんな広報をしていただくのも1つの案であると思う。 |
| 会 長 | 確かに、おっしゃるとおりである。湖西市が支払っているお金が全体で、10億超えているでしょう、そういうことをお金で説明していただくと良いとの提案ですね。                                                                                                                                                                           |
| 事務局 | 見える化ということが、重要である。このようなことの状況を知っていただくということで、広報紙により細かいことを掲載したいと思う。                                                                                                                                                                                       |
| 会 長 | 静岡市あたりだと、年間100億円近くになる。1年間にである。浜松市もそうである。湖西市は、たぶんパッカー車の人件費も含めて10億を越えますよ。25年度は、分かりますか。10年で100億になってしまう。                                                                                                                                                  |
| 事務局 | 25年度の支出は、10億2,000万円である。                                                                                                                                                                                                                               |
| 会 長 | なかなかの金額になっている。アスモさんはどうですか。                                                                                                                                                                                                                            |
| 委 員 | 先ほど、市の方が言っておられたように見える化、私の職場では、可燃ごみ、不燃ごみ、金属などが何トン出ているとか、計量しまして、職場毎の社内のホームページに掲載している。この月は、どの程度出ますよと載せるのが1つ、それらによって、職場の目標を定めるわけではないが、見えることによって、もっと減らそう、こんな所が減らせるよとアイデアが出てくる。市全体ということではなく、もっと細かく、量を説明できると良いと思う。                                           |
| 会 長 | 先ほどから言っているように「見える化」ですね。                                                                                                                                                                                                                               |
| 委 員 | その点でちょっといいですか。先ほどの資料2と3とか。金額に換算したものを次回に出していただけないか。                                                                                                                                                                                                    |
| 事務局 | わかりました。                                                                                                                                                                                                                                               |
| 委 員 | 地域ごとに分かるともっと具体化すると思うがどうか。                                                                                                                                                                                                                             |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局                         | 地域ごとには、やっていないため難しい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 委 員                         | どの程度なら良いのか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事務局                         | 新居地区と湖西地区はA Bに分かれてるため、この程度なら出ると思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 委 員                         | それでも良いと思う。少し方向性が見えてくると思う。方向性が決まらないデータはあってもしょうがない。一度、考えてみてほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 会 長                         | 次は、1年間のごみ経費のことであるとか、地区毎の状況であるとか、もっと、わかりやすい情報を市で提供してほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 委 員                         | <p>私は、キューロをやっているが、自分の家では、グラム単位で生ごみ量のデータを取っている。自分の家だけだと大したことはない。</p> <p>1トンあたり20,500円に浜松市へ支払っているのを、グラム単位で見るといくらでもない。しかし、湖西市25,000世帯があると思うが、10,000世帯がやったらと仮定した場合には、年3,000万円程度の効果がある。私がやり始めたときは、5,000万円程度だった。キューロをやることで、生ごみに対する考え方が変わってきた。ごみ量が減った。夏場はごみが多いが冬場は少ない。全体量を10,000世帯に換算した場合には、5,000万円だったのが、3,000万円程度になっている。私が配付しているキューロは、データを取ってとお願いしているが、十分なデータが取れない。</p> <p>ずっとデータを取るのは難しい。だいたい、そういう数字から判断すると、これからどういうことをやったらどうかが見えてくると思う。</p> |
| 会 長                         | <p>わかりました。また、皆様方にも資料を出してくれると良い。市が配付するときに一緒に分けてほしい。いろいろと情報交換ができれば良いと思う。</p> <p>ありがとうございました。まだ、テーマがあるので、先に進まさせてもらう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>(2) ごみ減量推進について (資料8)</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 会 長                         | 資料の7の意識のものを含めて、行動の部分である。現況について事務局の方から説明を。議事の9番の(2)である。ごみ減量の推進についてで資料8である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事務局                         | 先ほどの市民の意識改革と似ているところもある。たとえば、23年度だと、生ごみ消滅容器のモニターの実施、剪定枝・草等の資源化促進、いままで実施していなかったのも、モデル回収を実施して、可能性を調                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

査した。

次に、古紙の回収促進ということで、今より拠点がずっと少ないが、古紙回収拠点2箇所、古紙回収ステーションを7箇所設置した。説明会は、先ほどと同じである。

24年度になると、剪定枝・草等の資源化促進を実施して、湖西地区は、隔週の水曜日、新居地区は、隔週の木曜日に実施した。定期的に実施し、ごみカレンダーを変更し、不燃ごみの回数を減らして実施した。

古紙・古布の回収促進ということで、箇所が少なかったため、自治会と調整して、西部公民館、新居支所、知波田多目的センターの3箇所、古紙回収ステーションが33ヶ所、古布回収拠点は、屋根がないとなかなか難しいため、知波田に1箇所を設置した。

あとはイベントとか、変わったところでは、5番目の新居高校3年生の対象の講話で、社会人となるうえで、生徒対象に説明して、去年は実施していないが、素晴らしいことであったと思っている。

24年度の7番で、不法投棄の情報提供ということで、25年3月25日に郵便局と締結して、車にステッカーを貼り、不法投棄があった場合には連絡してもらうものである。

9番は、インクカートリッジ里帰りプロジェクトで、皆さんパソコンで使用していると思うが、硬いプラスチックであるため、燃えないごみとして出していたカートリッジを回収するため、公共施設に回収箱を設置した。

平成25年度は、粗大ごみの戸別収集を開始した。いままで、タンスや机などは、すべて自分の力で環境センターに持ってこないとだめであった。市民の皆さんが全員車があるわけではないため、直接、職員が自宅まで取りに行く粗大ごみ戸別収集を、平成25年10月から実施した。当然、持ちに行くことから、お金がかかり、小さいものは500円、大きなものだと1,000円かかる。

それと2番の環境センターへの家庭ごみの持ち込みごみ有料化ということで、今までは無料であったが、ごみ処理には経費がかかっていることから、ごみを出す人には、それなりの負担が必要ということで、10kgあたり50円の手数料を納付していただいている。ちなみに、事業系は、10kgあたり120円で少し高くなってる。

続いて、3番のふれあい収集は、高齢化社会を迎えるにあたり、近く

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>のごみステーションにごみを出すことができない人が増えている。市の方でいろいろ調査して、直接自宅まで可燃ごみ・不燃ごみ・資源物を持ちに行く制度を、去年の9月1日から開始した。あとの4番、5番、6番は、先ほどと同じである。</p> <p>7番の不法投棄情報提供に関する協定ということで、平成25年5月14日に静岡銀行・遠州信用金庫・豊橋信用金庫・浜松信用金庫・とぴあ浜松農業協同組合・静岡県労働金庫と締結した。平成26年6月12日には遠鉄ストアの近くに蒲郡信用金庫ができたため、協定を締結した。すべての金融機関と締結し、不法投棄の監視の目が行き届くようにしている。</p> <p>あとは、古紙・古布の回収促進ということで、古布は、今まで知波田の多目的センターのみであったが、新居支所にもできたので、ご利用ください。</p> <p>拠点の設置が難しいため、市役所で古布臨時回収を実施した。多くの方が来たので、今年も実施したいと思う。</p> <p>まだまだ、やることは沢山あると思うので、ごみ減量に対する提案や施策があったら、是非ともご意見を頂きたいと思う。よろしく願いたい。</p> |
| 会 長 | 23年度から25年度まで、市の方で取り組んでいる事業を紹介していただいた。どんなことでも良いので、ご意見・ご質問があったら、願いたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委 員 | 3月・5月のお人形さんの回収をどのようにやっていただけるのか。新居町時代は、年1回回収し、供養をしていた。合併してからやっていないので、溜まってしまい困ってるとの話をいただいている。相談に乗っていただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事務局 | 人形回収は、宗教的な要素があるため、市の方では回収していない。申し訳ないが、ごみとして出していただくか、もしかしたら、買ったお店に相談してもらうしか方法はない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 委 員 | 昔は、新居町婦人会で実施していた。今はやっていない。お寺と神社にお願いしてとってもらっている。ガラスをはずしてやっているが、お金を取られる。（二宮神社、応賀寺）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 会 長 | 今日の段階では、そういう話でよいか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委 員 | はい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 会 長 | 他にどうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|     |                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 | プリンターの使用済みインクカートリッジ回収を実施していると初めて知った。どちらにあるのか。                                                                                                                                                                                          |
| 事務局 | 市役所、西部公民館にもあるし、公共施設にある。                                                                                                                                                                                                                |
| 事務局 | 市役所、西部公民館、新居支所、環境センター、郵便局、電気屋さんにも置いてある場合がある。                                                                                                                                                                                           |
| 委 員 | ありがとうございました。                                                                                                                                                                                                                           |
| 会 長 | せっかく、来ていただいたので、まだ、何も言っていない方は、何か言っていて、帰っていただくとうれしい。                                                                                                                                                                                     |
| 委 員 | 古紙の駅があると思うが、市でやっているのか。                                                                                                                                                                                                                 |
| 事務局 | そのとおり。市でやっている。緑色のコンテナがあるが、新居支所・西部公民館・北部多目的センターに設置しており、市で行っている常設回収事業である。                                                                                                                                                                |
| 委 員 | 白須賀にはないか。                                                                                                                                                                                                                              |
| 事務局 | <p>白須賀には回収拠点はないが、小さな回収コンテナで古紙回収ステーションがある。身近なところに設置してある。お手元のごみカレンダーの湖西地区の4頁を見てほしい。</p> <p>一番下に古紙回収ステーションがあり、白須賀第1～第6まである。古紙回収拠点は、非常に大きなコンテナが置いてある常設のものであり、古紙回収ステーションは、もう少し小さな1m四方形程度のメッシュコンテナが置いてあり、常設のものである。自分の自治会、最寄りのところに出してほしい。</p> |
| 会 長 | ちょっと聞いていて思ったのだが、市民の方にステーションとか拠点の場所が徹底されているのか。                                                                                                                                                                                          |
| 事務局 | 広報不足のことも否めないと思う。もちろん、ごみカレンダーにも掲載してるし、ホームページにも掲載しているが、なかなか、認識されにくいと感じているので、工夫したい。                                                                                                                                                       |
| 会 長 | だんだん、時間が迫ってきて申し訳ないが、今後、こういう議論を繰り返していく。今日は、これを話さないと帰れないという方がもしおられたら、言ってから帰ってもらいたい。はいどうぞ。                                                                                                                                                |
| 委 員 | 先ほど、企業側さんの方から、ごみ減量に対する意見をいただいたときに、コストの削減になると言われたが、ごみを減らそうと思ったときに、すごく節約になったので、分別をしていると無駄なものは買わないような意識が働いて、節約に繋がったと思うので、ごみ減量は節約に繋                                                                                                        |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>がって良いことがあると意識して入るとごみって少なくなると思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 会 長 | <p>先ほど、あいさつのところで、申し上げた 3 R。3 R って何か分かる方は？（委員の方が、リデュース、リユース、リサイクル）、4 R という言い方をするところもある。</p> <p>静岡県は、3 R でリデュース、リユース、リサイクルを推進している。この 3 つがだめなら、埋め立てなどをする。一般的にリサイクルに着目しがちであるが、リサイクルは環境負荷がかかりお金もかかる。その前にリユースがある。古着をもう 1 回使うとか、ビールは缶ビールではなく、瓶ビールで飲む。その前にリデュースがある。</p> <p>ごみ減量の入り口は、リデュースから入りましょう。発生抑制。もともとごみになるような物は、世に送り出さない。買わない、使わない、レジ袋の有料化は、その象徴的な例として、湖西も有料化になっていると思う。以前は、1 年間にレジ袋は、300 枚使うと言われていた。ひとりあたりで、結局ごみになります。マイバックを推進すれば、ごみになるものが減る。これがリデュースの考え方、発生抑制である。過剰包装もリデュースの考えた方でもある。そういう流れを踏まえて、湖西市のごみ減量の流れを仕組み立てていくといいかなと思う。</p> <p>ですから。委員の話はそういうことであると思う。ごみを減らすということは、リサイクルするのではなく、ごみになるようなものは、身の回りに置かない考え方である。</p> <p>競艇事業の委員の方の話で昨日 1 万人が来て、ごみが多量に発生するとの説明があった。ごみ処理するには、相当の金がかかるか。</p> |
| 委 員 | <p>ごみにお金がかかる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 会 長 | <p>ごみが減れば、経費が減る。そのような努力をしているか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委 員 | <p>一番に持ち込まないことがあるが、徹底はできない。後は、ごみの分別にご協力をお願いしますぐらいである。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 会 長 | <p>わかりました。ありがとうございました。生ごみの関係についてお話し下さい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 委 員 | <p>生ごみで考えると、一番は残飯である。食べ残しが一番に多い。食べ残しというと、食べたのを捨てるのではなく、売れ残りを捨てるものである。お客さんとの兼ね合いがあるが、できるだけ売れ残らないように売り切れのないようにやるのが、一番良いかなと給食では思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 会 長 | <p>今日の段階では、これで閉めさせていただきます。今、資料 7 と資料 8 に</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|    |                                                                                                                                                                    |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>基づいて、意識のことと、市としてのごみ減量に向けた取り組みの状況について、次の市民会議に向けて、進んだ議論ができるようお願いする。市民会議の場で、何となくどんな事をやるか分かったと思うので、次回の会議に向け準備と心構えをお願いする。</p> <p>これで、今日の進行は終わりたいと思う。ありがとうございました。</p> |
| 全員 | 拍手                                                                                                                                                                 |

## 10 その他

### (事務局から)

資料にも書いてあるように、次回開催予定日は、9月8日(月) 14時にこの場所で開催する。あらためて開催通知は送付する。

机の上にある緑色の袋は雑がみ袋である。今までの廃品回収では、縛るようなものしか出していなかった。やっぱり、トイレットペーパーの芯、サランラップの芯、お菓子の箱も全て資源となる。縛れないため、雑がみ回収袋を使っただき、雑誌のところにに入れてほしい。袋は、この袋でなくてもかまわない。普通のデパートの袋で結構。注意してほしいのは、取手の部分が、紐とかビニールものは止めてほしい。付いていたら、取っていただいてから出してほしい。

雑がみ袋は、市役所市民ホールにいっぱい置いてある。持って行ってください。

## 11 閉会